

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第27号 平成23年8月12日

練習の成果も見られた好練習試合

達脇上位チームにきっちり結果出す！

	1	2	3	4	5	6	7	R
B	0	0	1	0				1
G	1	0	2	×				3

先頭打者を三振奪取

梶原先制タイムリー

8/12(日) 秋季区民大会1回戦@JINDAI戦を三ツ沢公園野球場で戦った。マリンでのアップを調整しながら行い、終えた一行が球場で待ち受けていた現実は、不戦勝という結果であった。メンバー招集困難という理由で、不戦を申し込んできたらしいが、実は、我々の前の試合も不戦、後ろの試合も不戦という結果は、もしかして、事務局の日程選択誤り？という感もしたが、決定事項での結果は、受け止めるしかない。ただ、人数的に多いのか？少ないのか？最近では若干分からないところもあるが、まー、最悪な結果にならないように、チームコントロールはしたいとつくづく感じた。事務局からグラウンドでの練習許可を貰ったので、練習をして帰ろうとしたが、途中審判員からのホームベース周辺でのルールレクチャー、そして、急遽発生した反対山のチームとの練習試合と内容はコロコロ変わり、そのゲームに臨んだ。

打線・先発は、今日の先発メンバーで臨む。区民大会男達脇は、先頭打者を三球三振に斬り上々の発進、続く打者を内野ゴロに切ったが、三番には、左前に運ばれた、しかし、動揺する事無く、4番を三振に斬り、初回を0点発進とした。続く裏の攻撃、昨日とは、一・二番をひっくり返し、哲也が先頭に、が、粘ったものの、アウトロー一杯のボールで見逃し三振、次打者たかあきは、二球目をセンターネット直撃の安打で出塁、その後二盗を決め、一死二塁と先制と場面は変わっていった。後続の内野ゴロで走者を進塁させ、最近好調の梶原のバットにベンチの期待は集まる。ここで、梶原が二球目をセンターネット直撃の安打で三塁走者を迎え入れ、先制点を挙げた。達脇は、続く回も三者凡退に斬る。ゲームが動いたのは、三回相手の攻撃、一死後、左中間に安打で出塁を許す。そして、二盗を決められ、一死二塁とピンチの場面。次打者三球目のシーンにエンドランを決められ、一挙セカンドからホームインされ、同点とされた。しかし、ここで、ピンチを救ったのが、捕手@梶原、二塁で盗塁を阻止し、この回のピンチを切り抜けた。ピンチの裏にはチャンス有り。一死後哲也が相手失策で出塁、その後、たかあきの二球目にエンドランを掛けた。こらが、きっちり叩く打球、ファーストアウトとなったが、哲也が三塁まで進み、二死三塁とリード出来る内容、ここで、今日三番に入った浅沼が四球を選択、またこの打席の時にWPPで三塁からホームインし1点リード、そして、梶原が打席に。しかし、相手投手の制球が乱れてきたのか、梶原も四球を選択し、二死一・二塁と絶好の場面へと変わった。打席に入ったのは裕太。2ストライクを取られたが、4球目を左中間に運び、浅沼が一挙ホームインし、二点目を追加した。時間となった最終回の守備、先頭打者が打った打球はイーシーな三飛であったが、完全に太陽に入った打球をグラブで捕球する事は出来ず、体で捕球を試みたが、するりと手を抜け、無死二塁と更に、後続に死球を献上したので、無死一・二塁とピンチと場面は化した、今日の守備陣は、慌てる事は無かった。次打者の二球目にまたもや、相手チームはエンドランを仕掛けてきたが、これは、サードが落ちてこなし一死、次打者も1球で二飛とし二死、そして、後続を三塁ゴロに打ち取り、この大ピンチの場面を0点に抑えた。これは、その前の練習の成果の現れ及び、最近のチームの心がけだと思う。たかが、急遽組んだ練習試合かも知れないが、チームがやるべき事が出来て勝利を呼んだ内容は非常に有意義な結果が今日の暑く・長い1日を締めた。